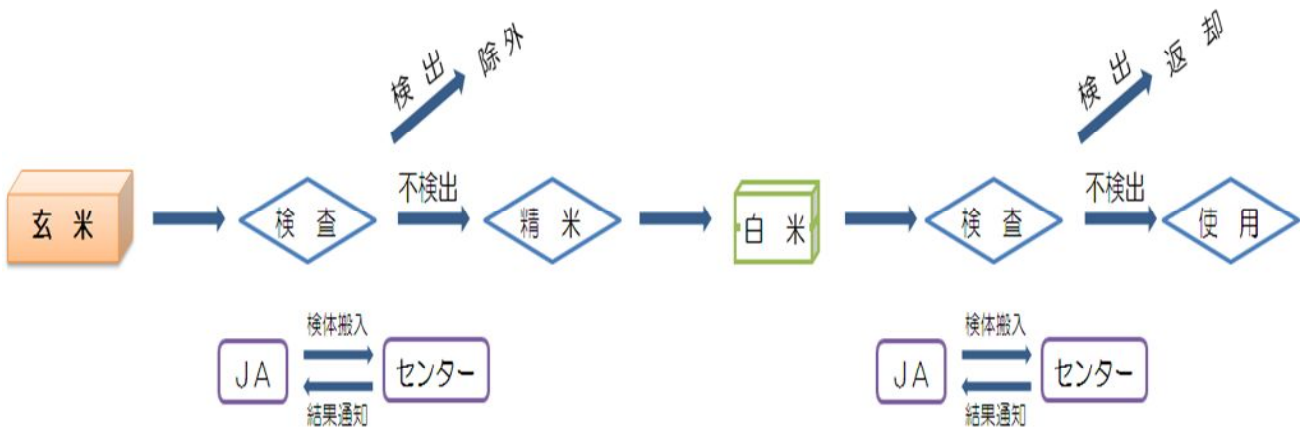


学校給食用米（平成23年産）の管理状況について

本宮方部学校給食センターでは、本宮市内及び大玉村内にあるすべての小中学校に米飯を提供し、平成23年地元産米を12月5日より学校給食に使用しております。

使用に当たっては、給食センターにおいて、検査体制を整え、玄米及び白米を放射性物質検出器により検査しており、検査の結果、検出限界値（10ベクレル/kg）以上のものは、給食には使用していません。



玄米の管理状況

福島県が実施した米に関する放射性物質検査の検査（早場米検査、予備検査、本検査）の3段階の検査結果で、検出限界値未満であった地域で生産された地元産米（玄米850俵）をJAの倉庫で、他の地元産米と分離して保管しております。



JA倉庫内の保管状況



玄米の袋ごとの付番による管理

玄米の検査状況

JAで保管している玄米1袋（30kg）ごとに検査用に抽出した玄米について、学校給食センターで独自に放射性物質を検査します。



搬入された玄米の検体



袋の番号毎に玄米を検査

精米の作業状況

学校給食センターで独自に検査し、放射性物質が検出されなかった玄米のみを郡山市の精米所（JAパールライン福島（株）パールライス事業部）に搬入し、精米します。



玄米の張り込み口



精米月日と袋毎の番号を印刷された白米の袋

白米の検査状況

郡山市の精米所で精米された白米は、学校給食センターに毎週1回納品されますが、白米についても、20袋（10kg/袋）に1袋の割合で、念のため、学校給食センターで独自に放射性物質をサンプリング検査します。



給食センターへの白米の搬入状況



搬入された白米の検査状況